

「2月号特集「日本の難民支援」を読んで」

■私は東日本大震災の被災者ではありませんが、これから日本は、私たちはどうなってしまうのだろうかという不安の中にいます。彼らの気持ちに分かるなどというつもりはありませんが、多くの難民や国内避難民の方たちがこれから先の計画や夢を持つこともできず、先の見えない苦しい生活をされていると思います。これから私たちが、彼らと手を取り合い、気持ちを通わせつつ頑張っていけたら、と思います。  
(東京都・34歳・女性・無職)

「3月号特集「地場産業」を読んで」

■地域が地場産業を通して途上国支援に頑張っておられる様子がよく分かった。東日本大地震で日本を支援する申し出が、途上国を含む多くの国からあることはうれしいことであり、元気づけられる。したがって今回の特集のように地域による途上国支援の大切さがよく分かる。From 富山「なんととしても成功させにやいかん。責任重大です」From 大分「失敗を恐れていたなら何もできませんよ」の言葉に被支援者と共に頑張ろうという気持ちが感じられ、感動します。福島の「フルーツ」、茨城の「陸稲」、被災しておられるのであれば再起して活躍してほしいと思う。  
(岡山県・68歳・男性・無職)

■大震災に見舞われ不安な日々が続いている今、これまでもよりはるかに強く身をもって「自分が社会に対して何ができるか」を考えています。日本の企業や人、地域の取り組みが世界にも役立つという記事を読み、特別なことよりも自分がある場所で自分ができることがもつとあるはずだと思いました。問題意識に対して私なりに行動を起こす必要を感じています。

(東京都・31歳・女性・野村三智子・サービス業)

本誌へのご意見・ご感想や  
JICAへのご質問を  
お寄せください。

プレゼント  
付き

添付のアンケートはがき、Eメール、FAXから、本誌に対するご意見やご感想、またJICAへのご質問を、氏名・住所・電話番号・職業・年齢・性別・ご希望のプレゼントを明記の上、お送りください。ご記入いただいた個人情報統計処理およびプレゼント発送以外の目的で使用いたしません。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

◎応募締切：2011年7月15日

Email: [jica@idj.co.jp](mailto:jica@idj.co.jp)  
FAX: 03-3582-5745 (『JICA's World』編集部宛)

- ① ジブチの雑貨 (ご希望の商品名を明記ください)
- ② 書籍『チョコレートと青い空』(p37参照)
- ③ 書籍『支援のフィールドワーク 開発と福祉の現場から』(p37参照)



①



③

②

本誌をご希望の場合は  
下記方法で  
お申し込みください。

申込方法

本誌をご希望の方には、送料をご負担いただく形でご送付いたします。巻末の払込取扱票に、氏名・住所・電話番号・ご希望の送付期間・送付開始月を明記の上、指定の金額を郵便局でお支払ください。入金の確認後、発送手配をいたします(入金から1週間程度かかることもありますのでご了承ください)。複数冊、またはバックナンバーをご希望の方は送料が異なりますので、下記までお問い合わせください。

申込先 (株)国際開発ジャーナル社 業務部(発送代行)  
住所 〒107-0052 東京都港区赤坂2-13-19 多聞堂ビル  
TEL 03-3584-2191  
FAX 03-3582-5745  
Email order@idj.co.jp



次号予告 (2011年7月1日発行予定)

国際協力の経験を東日本大震災へ

国際協力に関連するさまざまなアクターによる東日本大震災への支援状況と、その中で生かされている国際協力の経験について特集します。